

2023年度 事業報告

施設名 ガーデンエル

施設長名 六川徳子

種別	乳児院		
設立	2010年	4月	1日
認可	2010年	4月	1日

*2023年度事業計画に対する評価

- ・コロナでの特例措置により、暫定 29 名となった。入所依頼に可能な限り対応したが、職員の退職等で体制が整わず、十分に應えることが出来なかった。
- ・一歳以上で措置、一時保護とそれぞれのユニットにしたことで、どちらの児童も比較的落ち着いて過ごせていた。
- ・一時保護児のアセスメント、支援計画等を整理して活用でき、より良い支援につながっている。一方で長期の一時保護児をどの時期にどのように措置ホームへ移動するのが課題となった。
- ・スーパーバイズについて、1 年目とリーダー職以外は 2 か月に 1 回としたが、それでも時間を確保することが出来ないことがあった。また、新任への OJT については体制を整理しつつ、指導を行うことが出来た。
- ・新型コロナウイルスだけでなく、この 3 年間発症が稀であった RS ウィルス、ヘルパンギーナ、手足口病、ノロウイルスが施設内で流行した。発熱や嘔吐等の症状が出た際は、早期に職員を分け、業務の調整をする等の感染拡大防止の対策をとった。また、嘔吐の処理、消毒、水分や食事の摂取等を再度整理しつつ周知を行った。
- ・毎月の職員会議で聖書の言葉を聞き、MS2009 への理解を深めながら、実践につなげることができた。
- ・里親支援機関 B 型の活動として、ロイと協力し、新規里親開拓のための広報活動、地域の里親会や MY 里親への支援を行っている。14 家庭の MY 里親の支援と、里親登録に向けた 2 家庭の調査をしている。年度末に里親支援専門相談員の業務について通達があり、今後の在り方について検討が必要となった。
- ・2024 年度に大規模修繕の計画を進めていたが、補助金申請が通らなかったことで、計画の修正が必要となった。

1. 事業運営の概況

認可定員	ひよこ	たんぼぼ	ちゅうりっぷ	ひまわり	さくら
30 名	6	6	6	6	6

2. 保育実績

① 在籍児数（各月 1 日在籍数：措置児童のみ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0才児	5	4	4	2	2	1	1	1	1	3	3	3	30
1才児	5	5	5	6	5	5	6	6	7	7	7	6	70
2才児	4	5	3	3	3	3	3	2	2	2	2	3	35
3才児	0	0	1	1	1	2	2	3	3	2	2	2	19
5才児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
措置児合計	14	14	13	12	11	11	12	12	13	14	14	14	154

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一時保護	4	11	8	7	5	6	8	7	8	6	6	6	84
ショート(含里子)	1	0	1	1	2	0	3	1	2	2	0	0	13

〈結果と考察〉

- ・月の平均在籍数は 19.3 名、充足率は 70% だった。入所依頼は一時保護のみで、一時保護から措置になる児童が数名いた。また、大半の一時保護児は 2 カ月以内に家庭引取となる反面、半年以上一時保護となる児童も数名いた。
- ・一時保護の依頼の半数が 0 歳児であったが、0 歳児が 1 ホームのため、十分な受け入れができなかった。

② 職員構成（年度末時点、上段に実数、下段に最低基準を記入）

職種	施設長	児童指導員 看護師 保育士	事務	家庭支援専門相談員	個別対応職員	基幹的職員	栄養士	調理員等	嘱託医	心理療法担当職員	里親支援専門相談員	指導員特別加算	小規模グループケア加算	その他	合計
実数	1	22	2	2	1	1	1	3	1	1	1	1	10	4	51
定数	1	22	1	1	1	1	1	4	1	0	0	0	0	0	33
<p>〈結果と考察〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜勤体制の充実のため、非常勤職員の採用を積極的に行い、一定数の人数が集まった。 ・看護師や調理員等の急な退職が相次ぎ、専門職の人材確保に苦慮した。 ・年度末での退職者が多数出たが、充足させるための採用が追いついていない状況が続いている。職員の確保が喫緊の課題として残った。 															

3. 園児の処遇実績

イ) 健康管理

定期健康診断	測定・検査など
<p>嘱託小児科医による健康診断を年2回実施。 母子保健法に基づく健診 (東保健センター) 4カ月、一歳半、三歳半 (嘱託医) 後期</p>	<p>身体測定：0歳月2回、1歳以上月1回実施。(特例あり) 予防接種：嘱託医の協力のもと、公費負担の無い種類も含め 月齢に応じ計画的に実施。</p>

ロ) 栄養管理（食事・おやつ）の取り組み

- ・大阪いずみ市民生協から安全安心な食材の購入を心掛けている。
- ・おやつは、手作りを重視して、季節感のあるものを提供している。
- ・近隣の方より、野菜や果物などの寄贈があり、食事として提供している。

《離乳食》

- ・離乳食は個別のトレーで、名札を付けて提供している。
- ・ミルク量と離乳食の進め方を新たに作成し、ホーム職員と知識、情報を共有しながら進めた。
- ・離乳食の進み方は個人差が大きいので、個々に離乳食進行表を作成している。
- ・魚、豆腐、卵等の提供の初めにはアレルギーの起因となることも多いので、特に卵や小麦に関しては、提供から48時間の体調スコアリングを行い、問題がなければ次の段階へ進める連絡体制をとっている。
- ・厨房職員は離乳食の食べ方や大きさ、固さ、粘度などを確認出来るようにホームに入り、喫食状態を確認している。

《アレルギー対応》

- ・アレルギー除去食では、献立に除去食品をマーカーでチェックした専用の献立表と写真入りの個人票を作成。個人票と一緒に食事を提供し、照らし合わせて職員に伝えている。食器を変えてアレルギー対応食とわかりやすくしている。

《病児への対応》

- ・子どもの体調不良時は、体調に合わせて、病児食事（おじや、うどん、消化に良い食事）を提供している。
- ・感染症が蔓延した際は、献立の変更を行い、十分な栄養の確保を目指した。

《備蓄》

- ・災害時における安全な乳幼児の栄養摂取の観点から、備蓄食材の見直しを行った。
- ・食材ロスを減らす観点から、備蓄食材をローリングストックに切り替えた。

ハ) 年間行事

<p><行事の取り組み方> ガーデンエルは各ホーム6名の小規模グループケアであり、一般の入所施設であるような運動会や遠足等全体行事を実施していない。ホーム単位による、家庭的な日々の取り組みに努めている。</p>
<p><結果と考察> ・新型コロナウイルスが5類になり、行動規制が緩和されたことから、少しずつ施設外での活動を増やしていくことが出来た。 ・お誕生日のお祝いに、半日の個別外出が実施できた。また助成金を受け、七五三の記念写真を写真館で撮るなど、子どもの状況に合わせた外出の機会を持つことができた。 ・秋にはホームごとで、半日の外出を実施した。</p>

ニ) 安全管理

火災・地震	火災、及び地震から火災の想定で、毎月、避難訓練を実施。全体消防は消防署の協力の下、12月に実施した。
救急救命	消防署の協力のもと、AEDによる救命訓練(職員)を10月31日に実施。その他、職員会議で看護師指導での救命訓練を実施した。
防犯	不審者対応訓練は警察署協力の元、10月26日に実施。
衛生	感染症予防のための手指消毒の徹底、日々の消毒を見直しながら実施した。

ホ) 賠償保険等の加入状況 (利用者対象)

保険種別	会社・団体名	補償内容(金額)
施設賠償責任保険	共栄火災海上保険(株)	対人2億円

4. 職員処遇の実績

イ) 職員の健康管理

- ・定期健康診断 年2回、検診内容(胸部X線、血圧、尿、心電図、問診他)
- ・検便 栄養士 年24回、調理員 年24回、保育士・指導員・看護師 年12回
- ・インフルエンザ予防接種

ロ) 労務管理

- ・就業規則の改訂(懲戒解雇の項目追加、試用期間の取扱いの追加、法人内異動の追加)
- ・給与退職金規定の改訂(通勤手当額・処遇改善加算の取扱変更)
- ・自転車通勤規程の作成

ハ) 職員会議(高齢除く)

内容	実施回数(開催時間)
主任会	適時
ユニットリーダー会議	1カ月1回 13-16時
エル会議(職員会議)	1カ月1回 13-14時30分
危機管理委員会(防災、防犯、訓練の実施等に関して)	1カ月1回 13-14時
保健衛生会議(保健衛生、医療面全般)	1カ月1回 13-14時
共有会議(ケース情報の共有、不足情報の確認)	1カ月1回 14-15時
各ホーム会議(子どものこと、ホーム全般について)	1カ月1回 13-15時
ごちそう会議(食事おやつ、栄養面全般)	1カ月1回 13-14時
ケース会議(支援計画作成を含む)	随時
子どものための委員会(支援上の課題共有、解決)	1か月1回 11-12時
エルロイ里親支援会議(里親支援機関B型の運営に関して)	1か月1回 午前で1時間

ニ) 研修実績(イエス団含む)

No.	研修名	主催者	研修内容	開催年月日	参加人数(職種毎)

1	サービスマナー（新人）	大阪府社会福祉協議会	社会人、組織人としての心構え	4/20	1 (保育士)
2	児童施設課程基礎 I	大阪府社会福祉協議会	児童福祉の現状、施設職員としてのあり方	5/18. 19	1 (保育士)
3	乳児院職員指導者研修	西あかし研修センター	乳児院における養育と家庭支援	5/31-6/2	1 (保育士)
4	乳児院合同アウトリーチ研修	チャイルドリソースセンター	「安心感の輪子育てプログラム」	6/19. 7/10. 8/21. 9/11. 10/16. 11/20	2 (保育士)
5	スーパーバイザー養成基礎講座	大阪府社会福祉協議会	やりがいをもって働き続けるために対人援助の実践力をともに育む	6/15	1 (保育士)
6	近畿乳児福祉協議会	近畿乳児福祉協議会	家庭養育を支える乳児院の役割-乳幼児総合支援センターに向かって-	6/22. 23	3 (施設長)1 (保育士)1 (栄養士)1
7	全国乳児院研修会	全国乳児福祉協議会	職員に必要とされる専門的な養育・支援に関する知識や技術など学ぶ	7/6. 7	1 (保育士)
8	集団指導者養成教室	大阪府社会福祉協議会	みんなで助かる！福祉×防災コミュニティ。個別避難計画の全体像を福祉BCPから考える	7/7	1 (保育士)
9	保育に関する専門研修	大阪府社会福祉協議会	子どもを尊重した保育	8/24	1 (保育士)
10	東大阪集団給食研修会	東大阪市保健所健康づくり課内	集団給食施設における給食BCPの導入について	8/31	1 (栄養士)
11	日本心理臨床学会	日本心理臨床学会	心理臨床学の新たな多様性を拓く	9/1-9/3	1 (心理士)
12	FDW	チャイルドリソースセンター	フォローアップ	9/9	1 (指導員)
13	SIDS について考えるセミナー		保育睡眠中のSIDSの予防と対応	9/14	1 (保育士)
14	キャリアパス対応生涯研修	大阪府社会福祉協議会	福祉職員の心構え、キャリアを考える	9/8. 15. 22	1 (保育士)
15	日本心理臨床学会	日本心理臨床学会	心理臨床学の新たな多様性を拓く	9/22-10/12	1 (心理士)
16	実務者スキルアップ研修	東大阪市子ども見守り相談センター	外傷から見る児童虐待の見立て	9/27	1 (保育士)
17	全国乳児院協議会	全国乳児院協議会	すべての子どもの健やかな育ちのために	10/5. 6	2 (施設長) (保育士)
18	日本遊戯療法学会	日本遊戯療法	マンガとあそび-ファンタジーを生きる-	10/21. 22	1 (心理士)
19	近畿乳児福祉協議会 職種別研修会（保育士部会）	近畿乳児福祉協議会	虐待グレーゾーンについて考える-不適切なケアの未然防止に向けて-	10/24	1 (保育士)
20	近畿乳児福祉協議会 職種別研修会（栄養士部会）	近畿乳児福祉協議会	家庭の代替え機能でもある乳児院における乳幼児の食のありかた	10/26	1 (栄養士)
21	全国里親会 近畿地区里親連絡協議会 こども家庭庁	全国里親会	一緒に歩こう 希望の架け橋 こどもの未来へ	10/28. 29	1 (保育士)
22	イエス団新任職員フォローアップ研修	イエス団	フォローアップ	10/28	1 (保育士)

23	階層別人権研修	大阪府社会福祉協議会	人権	11/1-11/21	1 (保育士)
24	日本子ども虐待防止学会	日本子ども虐待防止学会	すべての子らを、世の光に	11/25.26	1 (施設長)
25	近畿乳児福祉協議会 職種別研修会（心理・家庭支援・里親支援）	近畿乳児福祉協議会	対話力を高める「当事者の気持ちを理解しよう」	12/6	1 (指導員)
26	全国退所児等支援事業連絡会	全国社会福祉協議会、全国退所児童支援事業連絡会	施設間の措置変更・家庭復帰の支援と課題を考える	12/8	1 (保育士)
27	フォスタリングチェンジプログラム	日本福祉大学	人材育成プログラム	12/13.14	1 (保育士)
28	社会的養護を担う児童福祉施設長研修オンライン	全国社会福祉協議会	施設長に求められる役割などについて研修し、専門性の向上を図る	12/11-22	1 (施設長)
29	保育に関する専門性研修	大阪府社会福祉協議会	不適切な保育の未然防止のために	1/17	1 (保育士)
30	職種別研会（看護師）	近畿乳児福祉協議会	効果的な支援を行うために必要な知識や技術を獲得し、専門性の向上を目指す	1/23	2 (施設長) (保育士)
31	イエス団合同施設長研修	イエス団	平和をつくりだす	1/27-1/28	1 (施設長)
32	要保護児童対策地域協議会 実務者スキルアップ研修	東大阪子ども見守り相談センター	ネグレクトについて理解を深める	1/31	1 (指導員)
33	フォスタリングチェンジプログラム	日本福祉大学	スペシャルフォーラム	2/15	1 (保育士)
34	実践型研修会		2025年の問題を踏まえて中小企業が備える経営対策講座	2/15	1 (事務員)
35	乳児院上級職員セミナー	全国社会福祉協議会	専門知識等の習得やチームリーダーとしての資質向上を目指す	2/27-2/28	1 (保育士)
36	乳児院医療看護セミナー	全国社会福祉協議会	乳児院養育・支援に特化した医療・看護の専門性の向上を図ること	2/29	1 (保育士)
37	日本発達心理学会	一般社団法人 日本発達心理学会	発達を見る、発達から見る-保育・教育と多様性-	3/6-3/8	1 (心理士)
38	イエス団新人研修	イエス団	イエス団の理念を理解し、職員としての使命を考える。	3/25-26	1 (保育士)
<p><結果と考察></p> <ul style="list-style-type: none"> 多数の研修が対面で実施され、他施設との交流もできるようになり、有意義な時間となっていた。 					

ホ) 福利厚生<退職共済制度（機構・府県・市）、福利厚生制度等>

- ・社会福祉施設職員等退職手当共済制度（福祉医療機構）
- ・大阪民間社会福祉事業従事者共済会

5. 子育て支援・地域との交流の報告

- ・リサイクルや清掃委託で、近隣の障害者施設と連携している。
- ・東大阪市のショートステイ事業で、子育て支援として、定期的な利用も含めて地域の子どもを受け入れている。
- ・里親支援専門相談員を中心に、地域の里親会を支援している。また、地域の商店街の一角を借りて、地域に向けて里親広報活動を、東大阪役所やアリオ八尾でも月に1回実施した。
- ・新型コロナウイルスが5類となったため、サマーボランティア、抱っこボランティア等々様々なボランティアを受け入れており、定期的に活動しているボランティアが増えている。

- ・東大阪市東地区地域福祉ネットワーク推進会議に参加することができた。

6. 施設・設備の整備の実績（項目、金額、実施月等、10万円以上記載）

整備の名称	金額	勘定科目	財源	実施月
インターホン取替工事	176,000円	器具及び備品	措置費/事務費	4月
防犯カメラ移設工事	225,500円	修繕費	措置費/事務費	4月
感知器取替	116,600円	修繕費	措置費/事業費	5月
AED及びAEDトレーニングユニット購入	389,400円	器具及び備品	措置費/事業費	9月
消防点検不備箇所改修	392,700円	修繕費	措置費/事業費	12月
蓄電灯設置工事	604,780円	修繕費	措置費/事業費	1月
防犯カメラ修繕	137,500円	修繕費	措置費/事務費	1月
電話装置一式交換機更新	1,237,500円	器具及び備品	措置費/事務費	3月

7. 会計決算の状況

- ・コロナ禍の特例措置により、暫定定員29名で運営することができました。
- ・10,000,000円を人件費積立金として、44,800,000円を施設整備としてその他の特定積立金に積立ができました。
- ・ハンナの閉鎖に伴い、固定資産や備品等を引き受けたことにより拠点区分間固定資産移管収益が21,000,000円発生しました。

8. その他

- ・特になし。